

地域密着型金融推進の 取組み状況について

平成22年5月



I. 地域密着型金融推進に関する基本方針	1 ページ
II. 具体的な取組み実績	
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の強化	2～4 ページ
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底	5 ページ
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献	6～7 ページ
III. 今後の取組みについて	8 ページ

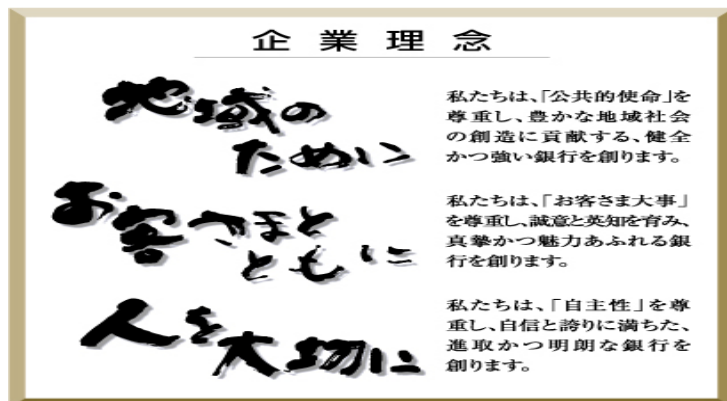
I. 地域密着型金融推進に関する基本方針

当行は、企業理念である「地域のために お客さまとともに 人を大切に」に基づき、地域との共存共栄を目指し、地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

また、当行では、第12次中期経営計画「Step up Plan 12th」（平成19年4月～22年3月）に基づき、地域金融の各種機能強化を推進してまいりました。平成22年4月からは新たに第13次中期経営計画「アクティブ・チェンジ」がスタートしております。この中期経営計画においては、目指すべき姿として、「地域を元気にし、お客さまから選ばれ続ける『強い』銀行」を掲げ、地域経済の牽引役としての役割を全うし、今まで以上に地域・お客さまからの信認を得て成長する銀行を目指してまいります。

こうした「企業理念・中期経営計画における目指すべき姿を実践し、銀行業務を通じた地域社会の活性化を追求する」ことを地域密着型金融推進の基本方針とし、今後もより一層の地域経済の発展に貢献してまいります。

企業理念



中期経営計画

第13次中期経営計画
「アクティブ・チェンジ」

地域を元気にし、お客さまから
選ばれ続ける「強い」銀行

地域密着型金融推進に関する基本方針

企業理念・中期経営計画における目指すべき姿を實踐し、銀行業務を通じた地域社会の活性化を追求します。

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の強化

(1) 創業・新事業支援の強化

当行では、地域ファンド通じ、成長可能性を有する企業へ出資するなど、創業・新事業支援の取組みを継続しております。

また、平成9年から実施しております「あおぎん地域産業育成助成金（通称エンジェル）」においては、新事業に関する研究開発などの支援を行っております。

今後も地域における資金供給面での支援はもとより、地域ファンド、助成金を通じた創業・新事業支援を一層強化してまいります。

<21年度の主な取組内容>

◎ あおもりクリエイトファンドの活用

「地域中小企業応援ファンド」のスキームを用いた全国初の地域ファンドとして、平成19年6月に設立し、当行も出資参加しております。

21年度は1社に対し投資を実施し、設立以来の累計投資先は8社と着実に実績を挙げております。

◎ あおぎん地域産業育成助成金制度

同制度は、県内企業における新技術・新製品および新サービスの研究開発に必要な資金を助成することを目的に、平成9年から開始し、21年度で第13回を迎えました。21年度は2社に対し、2百万円を助成しております。

◎ 青森農商工連携ファンド

「農商工連携型地域中小企業応援ファンド融資事業」を活用し、青森県が組成したファンドであり、総額28億円の支援基金によりスタートいたしました。21年度の助成実績は、8先、13.8百万円となっており、当行も同ファンドを通じた、農商工連携に向けた取組みを強化しております。



●あおぎん地域産業育成助成金贈呈式

創業・新事業支援融資の実績
(平成21年度)

件数	94件
実行額	4,291百万円

Ⅱ. 具体的な取組み実績

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の強化

(2) 事業再生・経営改善支援への取組み

① 企業の早期再生と再生持続可能性のある事業再構築に向けた支援強化

当行では、企業価値が保たれている段階での早期再生のため、外部機関（RCC、中小企業支援協議会、再生ファンドなど）を活用し、企業再生の促進、実効性の確保を図っております。

平成21年度における中小企業支援協議会などを活用した事業再生手続き完了案件は3件と着実に成果を挙げております。今後も、外部機関との連携を図りつつ、DES（債務圧縮のための貸出債権と株式の交換）、DDS（財務状態の実質的な改善を目的とする貸出債権の資本的劣後ローンへの転換）など、多種多様な手法を活用した事業再生に取組み、再生持続可能性のある事業再構築に向けた支援を実践してまいります。

② 経営改善支援取組み先を中心とした重点的な経営改善支援への取組み

当行では、経営改善支援取組み先を指定し、審査部内の専担部署である企業支援室が中心に本部・営業店が一体となり、経営改善支援に取り組んでおります。平成21年度の債務者区分ランクアップ実績は16先となっております。

<経営改善支援等の取組み実績>

【21年4月～22年3月】

(単位:先数)

	期初債務者数 A	うち 経営改善支援 取組み先 α	αのうち			経営改善支援 取組み率 = α/A	ランクアップ率 = β/α	再生計画 策定率 = δ/α
			αのうち期末に 債務者区分が ランクアップした 先数 β	αのうち期末に 債務者区分が 変化しなかった 先 γ	αのうち 再生計画を 策定した 先数 δ			
正常先 ①	8,946	9			4	0.10%		44.44%
要 注 意 先	うちその他要注意先 ②	3,789	96	9	81	2.53%	9.38%	95.83%
	うち要管理先 ③	35	5	3		14.29%	60.00%	100.00%
破綻懸念先 ④	647	13	4	7	12	2.01%	30.77%	92.31%
実質破綻先 ⑤	382	9	0	8	8	2.36%	0.00%	88.89%
破綻先 ⑥	106					0.00%	0.00%	0.00%
小計(②～⑥の計)	4,959	123	16	96	117	2.48%	13.01%	95.12%
合計	13,905	132	16	96	121	0.95%	12.12%	91.67%

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の強化

(3) 相談機能の強化

当行では、法人向け会員制経営支援総合サービス「Wing Web 24」の提供や各種商談会の開催、ビジネスマッチングのご提案など、経営相談・情報提供・商談機能の拡充などに努めております。

また、事業承継などに関する経営相談を起点とした、コンサルティング営業を強化しており、事業承継セミナーの開催、外部専門機関との連携など、積極的な営業活動を展開しております。

<21年度の主な取組内容>

▶各種セミナー等の開催

◎ 事業承継セミナーの開催

21年9月に二部構成（5講義）にて開催

参加人数：合計約300名

その他、各営業店お取引先向けの個別セミナーも開催

◎ 公益法人制度改革対応セミナーの開催

開催日：21年12月2日

参加人数：84法人154名

公益認定の考え方、公益法人制度改革に伴う移行ポイントなどを説明



●事業承継セミナー



●公益法人制度改革対応セミナー

▶外部専門機関と連携した各種相談機能の強化

◎ TKC東北会青森県支部との事業承継支援にかかる業務提携（21年4月）

取引先の事業承継に関する相談・提案活動、セミナー・個別相談会の実施を目的に業務提携を実施

◎ 事業承継・資産承継コンサルティング会社との業務提携（21年7月）

「辻・本郷税理士法人」および同法人グループのコンサルティング会社と提携し、事業承継・資産承継の実行、経営コンサルティングニーズ等に対応

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

(1) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資への取組み

当行では、不動産担保、個人保証などに過度に依存しない融資手法を徹底すべく、事業価値を見極める融資手法の拡充に取り組んでおります。

また、シンジケートローンなど市場型間接金融手法の活用、農業分野などへの資金供給機能の強化に向けて、お客さまへの提案活動の推進や体制整備に努めております。

<21年度の主な取組内容>

▶無担保・無保証商品の開発・推進の強化

◎ あおぎん農業ローン「アグリパートナー」の発売（21年10月）

青森県農業信用基金協会保証による、汎用型融資商品（資金用途を農業全般に拡大）の発売開始（同協会保証の汎用型融資商品の発売は、農協以外の民間金融機関では県内初）

個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資の取組み実績（平成21年度）

	件数（件）	実行額（百万円）
スコアリングモデルを活用した融資	110	1,524
その他（当行格付等による無担保商品）	222	4,014

(2) 「目利き機能」の発揮に向けた取組み

不動産担保、個人保証に過度に依存しない融資手法の徹底を図るため、企業の技術力や将来性を的確に評価できる「目利き能力」をもった人材の育成を強化しております。

21年度も審査・融資部門への長期研修制度の継続、業務別研修やレベルアップ研修の充実などを進めており、今後も「目利き能力」の強化に向けた取組みを継続してまいります。

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

(1) 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取組み

① 産学官金連携の強化

当行では県内大学などとの連携協力を通じた、地域経済活性化に向けた支援を強化しており、現在、県内4校と業務協力協定を締結しております。21年度は弘前大学との連携による農業ビジネス講座の開催など、幅広い分野での連携強化を継続しております。

② 地域企業の販路拡大支援の強化

県内にとどまらず、広い商圏での販路拡大支援を強化するため、北東北3行合同ビジネス相談会「Netbix」の開催や、各種機関と連携したビジネスマッチング業務の積極的展開を推進しております。

<21年度の主な取組内容>

▶ビジネスマッチング機能の強化

◎ Netbix 個別商談会の開催

	開催月	バイヤー企業
第1回	21年5月	アイケイ
第2回	21年8月	ホームセンター「かんぶん」
第3回	21年11月	イオンスーパーセンター
第4回	22年2月	ファミリーマート



⇒ 商談件数合計 176件 成約件数 33件
(22年3月末現在)

◎ 楽天(株)とのビジネスマッチング業務提携(21年4月~)

取引先企業のインターネットビジネス参入ニーズに対応
「楽天市場ECセミナー」および出店相談会を開催

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供

① 個人のお客さまの資金需要への対応と地域における人材育成支援

当行では、教育ローン金利の優遇、返済条件の変更などに対応する相談窓口の設置など、個人のお客さまの資金需要への対応強化を積極的に推進しております。

また、金融経済教育の普及など、地域における人材育成支援を強化しております。

<21年度の主な取組内容>

◎ 青森県「子育て家庭支援事業」への協賛店舗加盟（21年4月）

子育て家庭を対象としたサービスを実施する協賛店舗「あおもり子育て応援わくわく店事業」に加盟し、教育ローン金利の優遇サービスなどを開始

② 利用者満足度アンケートの実施

当行では、利用者ニーズの把握とそれに基づいたサービスの提供を実現するため、お客さまを対象にした「利用者満足度アンケート」を実施しております。

今後もアンケート結果に基づいた、地域活性化につながる各種多様なサービスの提供に努めてまいります。

<21年度の主な取組内容>

◎ 利用者満足度アンケート（法人向け）の実施（21年10月）

20年度に実施した個人向けアンケートに引き続き、法人のお客さま1,000名を対象にアンケートを実施（アンケート回収率：71.5%）

Ⅲ. 今後の取組みについて

平成22年4月からスタートした第13次中期経営計画「アクティブ・チェンジ」では、基本戦略の一つとして「産業育成・企業支援」を掲げ、今後も地域密着型金融推進に向けた、より一層の取組みを継続してまいります。

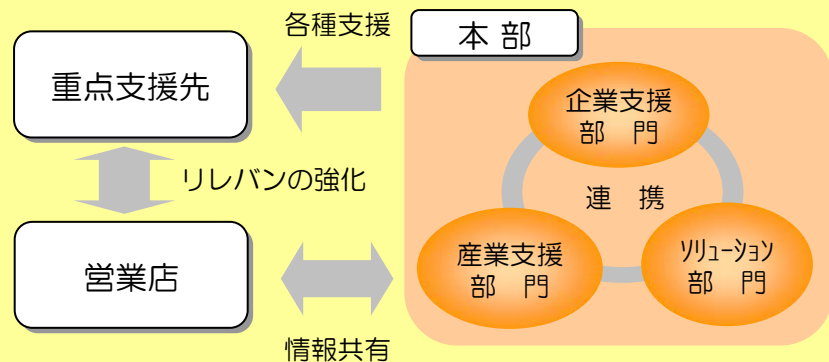
事業再生・経営改善支援の再強化、地場産業の育成支援を重点施策とし、地域経済の活性化に向け、地域に根づいた取組みを強化してまいります。

産業育成・企業支援

地域密着型金融推進に向けた
より一層の取組み

事業再生・経営改善支援の再強化

経営改善支援の対象となる重点支援先を拡大し、早期段階からの積極的関与により、取引先企業の業績向上と経営全般にわたる支援活動を推進します。



地場産業の育成支援

青森県の基幹産業であるアグリビジネスを中心とした地場産業の育成を支援し、地域内経済の振興を図ります。

アグリパートナー チームの設置

企画立案
行政・中央
情報担当

地域情報
担当

各分野との連携強化

アグリバリュー チェーンの構築

「食」関連業者の
データベース化

各種ソリューション機能
の強化

ビジネスマッチング機能
の強化